

事業所名 赤穂精華園放課後等デイサービスセンター

### 支援プログラム

作成日

令和7年3月1日

法人（事業所）理念		子どもたちがいきいきと過ごせるように、安心安全を第一に。得意なことを伸ばし、苦手を少しでも減らせるお手伝いをしています		
支援方針		個々に合わせたプログラムを行い、成功体験を積んで出来る自信へと繋げていきます。 季節に合わせた活動や体験を通して、成長を積み重ねることができるよう支援します。		
営業時間（放課後）		13：00～17：30	送迎実施の有無	送迎あり（要相談）
営業時間（学校休業日）		10：00～17：30		
支援内容				
本人支援	健康・生活	連絡帳を使用し、保護者との情報共有を行います。同時に学校への迎えの際、担当教諭と情報交換を行い、健康状態などの心身面での様子を確認します。 来園時には体温測定を行い、健康に留意します。基本的な生活習慣（食事・排泄・手洗いなど衛生面・片付け等）を身に付けられるように支援します。		
	運動・感覚	・感覚特性への対応（特性に応じた感覚の導入、固有覚を特に意識した運動や制作活動） リズム遊び、散歩、季節の制作、色々な道具の使い方などを学べるように支援します。 ・姿勢や運動能力の向上 トランポリン、屋外歩行、プール遊びなどを通して運動機能の向上を図ります。		
	認知・行動	集団生活での活動や遊びの中で、適切な行動を習得できるように支援します。 季節の変化を感じて頂くために屋外での活動やイベントへの参加、外出、壁画制作などを行います。 消防・災害時想定避難訓練を行います。		
	言語 コミュニケーション	始まり、終わりなどの挨拶や場面に適したコミュニケーションを習得していきます。 保護者、学校と情報共有を行い、特性に合わせて読み書きなどの学習支援を行います。 集団生活において言葉だけでなく、サインや手話、絵カードを使用して相手に伝える方法を模索していきます。		
	人間関係・社会性	一人遊びから、集団での遊びに移行できるよう交流の機会を設けます。 集団の中では協調性やルールなどを学ぶ必要があり、自主性を持ちながらも適切なルールや他者に対しての気遣いなどが理解できるように支援します。 定期的にボランティアに入って頂き、様々な人とコミュニケーションをとる機会を作ります。		
家族支援		ご家庭での悩み事や相談などがありましたら、面談の機会を設けて個別相談を行います。必要に応じて関係機関等との情報共有の機会を設け、連携して支援を行います。	移行支援	ご本人、ご家族のニーズを確認しながら関係機関と連携を行います。新しい環境に必要なスキルを学べるように統一した支援を行います。
地域支援・地域連携		必要に応じて関係機関や他事業所と連携し、情報共有の元で適切な統一された支援を行います。	職員の質の向上	毎日スタッフ間での情報共有を行い、必要な支援についての検討し、統一した支援が行えるようにしています。 行動障害や介護技術などの勉強会や権利擁護・虐待防止・事故防止対策など各種研修に参加し支援の質を高めています。
主な行事等		外出：ドライブ外出（大塚海岸、地域の公園、喫茶店等） イベント：季節毎の催し（おやつ作り（学校休業日のみ）クリスマス会、ハロウィーン等）年2回の避難訓練 地域参加：ばんたん・ゆうあい作品展・兵庫県障害者芸術文化祭美術工芸作品公募展		